

*** プログラム ***

12月2日(金)

13:00-13:05 開会の挨拶

13:05-13:55 一般演題Ⅰ：胎児心疾患Ⅰ

座長：福嶋 恒太郎（九州大学病院 総合周産期母子医療センター 母性胎児部門）

1. 治療適応判断に苦慮した胎児完全房室ブロックの一例

国立病院機構長良医療センター 産科 岩垣 重紀 他

2. 経母体的ステロイド投与が有効であった胎児心筋炎の一例

久留米大学 産科婦人科学教室 堀之内崇士 他

3. Dual Doppler が出生前診断に有効であった胎児不整脈の症例

独立行政法人国立病院機構香川小児病院 高橋 洋平 他

4. 新生児死亡後に肺動脈本幹血栓が認められた1例

国立循環器病研究センター 小野 賀大 他

5. 先天性QT延長症候群と診断できず胎児死亡となった1例

東京慈恵会医科大学 産婦人科 梶原 一紘 他

13:55-14:25 一般演題Ⅱ：胎児心疾患Ⅱ

座長：佐藤 昌司（大分県立病院 産科）

6. 胎児超音波遠隔診断システムにおけるエプスタイン奇形の早期診断におけるSTICの有用性

京都府立医科大学大学院医学研究科 女性生涯医科学 藤澤 秀年 他

7. 遠隔超音波画像転送システムを用いた胎児頻拍症の診断と治療

亀田メディカルセンター 周産期母子医療センター 松浦 拓人 他

8. わたしの胎児心臓診断13年間の温故知新

奈良県立医科大学 第一解剖学教室および産科婦人科学教室 長沼 孝至

14:25-14:55 一般演題Ⅲ：胎児心疾患Ⅲ

座長：川瀧 元良（神奈川県立こども医療センター 新生児科）

9. 超音波パルスドプラ法を用いた胎児房室伝導時間の測定と抗 SS-A 抗体陽性母体の胎児管理

独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 産婦人科 高田 雅代 他

10. 抗 SS-A 抗体陽性妊婦におけるベタメタゾンとプレドニゾロン投与の胎児心ブロック発症予防効果に関する検討

九州大学病院 産科婦人科 穴見 愛 他

11. 胎児徐脈性不整脈に対する胎児治療効果についての検討

（胎児徐脈の胎児治療に関する現状調査2002-2008より）

国立循環器病研究センター 周産期・婦人科 三好 剛一 他

14:55-15:25 一般演題Ⅳ：胎児貧血、双胎

座長：川緒 市郎（国立病院機構長良医療センター 産科）

12. Rh 不適合妊娠における胎児輸血後に、出生当初より高ビリルビン血症を認めた症例

大阪府立母子保健総合医療センター 産科 山本 亮 他

13. 輸血後の心停止に対する胎児蘇生を行った MD 双胎一児死亡後の救命例

国立病院機構長良医療センター 産科 高橋雄一郎 他

14. 1 絨毛膜 1 羊膜双胎一児死亡における臍帯相互巻絡は生存児胎児死亡のリスク因子である

聖隷浜松病院総合周産期母子医療センター 周産期科 村越 毅 他

15:25-15:45 休憩

15:45-16:15 一般演題Ⅴ：TRAP sequence

座長：村越 毅（聖隷浜松病院 総合周産期母子医療センター 周産期科）

15. 臍帯相互巻絡を回避するために胎児鏡下臍帯切断術を施行した物理的一羊膜 TRAP sequence の一例

総合病院社会保険徳山中央病院 周産期母子医療センター 中田 雅彦 他

16. TRAP sequence に対して RFA を施行した 2 例

大阪府立母子保健総合医療センター 産科 川口 晴菜 他

17. 強出力集束超音波を用いた TRAP sequence への胎児治療の 1 臨床経験

昭和大学 産婦人科 市塚 清健 他

16:15-16:55 一般演題VI：TTTS I

座長：中田 雅彦（総合病院 社会保険徳山中央病院 周産期母子医療センター）

18. 一絨毛膜性多胎胎盤血管吻合検索の現状と問題点

東京慈恵会医科大学 産婦人科 伊藤 由紀 他

19. 胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術施行前後における D-dimer 値の推移

北海道大学病院 産科・周産母子センター 森川 守 他

20. 胎児鏡下吻合血管凝固術の胎児循環への影響：位相差トラッキング法による胎児血管径の評価

宮城県立こども病院 産科 宮下 進 他

21. Cardiovascular score を用いた双胎間輸血症候群のレーザー治療前後における循環動態変化に関する検討

国立成育医療研究センター 胎児診療科 住江 正大 他

16:55-17:35 一般演題VII：TTTS II、Selective IUGR

座長：馬場 一憲（埼玉医科大学 総合周産期母子医療センター）

22. 胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー術後に羊膜穿孔を合併し、その後の臍帯相互巻絡にて子宮内胎児死亡した TTTS 症例の検討

国立成育医療研究センター 胎児診療科 今野 秀洋 他

23. 一絨毛膜三羊膜品胎の胎児間輸血症候群に対して隔膜穿破を併用して胎児鏡下レーザー凝固術を完遂できた 1 例

大阪府立母子保健総合医療センター 産科 石井 桂介 他

24. TTTS の予後改善を目的とした modified sequential 法による胎児鏡レーザー凝固術の治療成績

総合病院社会保険徳山中央病院 周産期母子医療センター 中田 雅彦 他

25. 重症 Selective IUGR を伴う一絨毛膜双胎に対する胎児鏡下レーザー凝固術の臨床試験の案内

大阪府立母子保健総合医療センター 産科 石井 桂介 他

17:35-17:45 休憩

17:45-18:15 特別講演

座長：中野 仁雄（九州大学 名誉教授）

本邦の胎児治療の黎明と今後の展望

千葉産婦人科 千葉 喜英

18:30-18:50 九大フィルミニコンサート（大ホール）

19:00-20:30 懇親会（中ホール3）

12月3日(土)

8:00-8:45 幹事会（2階会議室3）

8:50-9:20 一般演題Ⅷ：胸部Ⅰ

座長：種村 光代（産婦人科種村ウィメンズクリニック）

26. 胸壁内に遺残したダブルバスケットカテーテルに対して胸壁および背部の2方向より剥離を行い抜去した1症例

兵庫県立こども病院 小児外科 田村 亮 他

27. 胎児水腫、両側大量胸水症例に対して胸水除去、帝王切開を一期的におこなった5症例

兵庫県立こども病院 産科 喜吉 賢二 他

28. 当院における原発性胎児胸水症例の検討

国立循環器病研究センター 周産期・婦人科 三好 剛一 他

9:20-9:50 一般演題Ⅸ：胸部Ⅱ

座長：名取 道也（国立成育医療研究センター 研究所）

29. 位相差トラッキング法による胎児胸水治療例の胎児心機能の計測

宮城県立こども病院 産科 小澤 克典 他

30. 出生前診断した先天性肺嚢胞性腺腫様形成異常の胎児期自然経過と胎児治療例の検討

大阪府立母子保健総合医療センター 産科 日高 庸博 他

31. 肺形成不全疾患群における肺形成の病理学的検討

国立成育医療研究センター 病理診断部 松岡健太郎 他

9:50-10:20 一般演題X：先天性横隔膜ヘルニア

座長：室月 淳（宮城県立こども病院 産科）

32. 出生前診断された先天性横隔膜ヘルニアに完全大血管転移を合併した1救命例

九州大学大学院医学研究院 小児外科 手柴 理沙 他

33. 胎児左先天性横隔膜ヘルニアにおける胎児MRIを用いた肺および胸腔内挙上肝臓の定量化による予後予測

国立成育医療研究センター 周産期診療部 三輪 照未 他

34. 先天性横隔膜ヘルニアに対する胎児鏡下気管閉塞術のプロトコール作成と実施に向けた動物実験

国立成育医療研究センター 胎児診療科 林 聡 他

10:20-10:40 休憩

10:40-11:10 一般演題XI：外科疾患I

座長：吉澤 穰治（東京慈恵会医科大学 小児外科）

35. 当院で経験した胎児脊髄髄膜瘤44例の検討

国立成育医療研究センター 周産期センター 江川真希子 他

36. Cloacal dysgenesis sequence の長期生存例

茨城県立こども病院 小児外科小児泌尿器科 矢内 俊裕 他

37. 胎児腹腔-羊水腔シャント留置を行った総排泄腔遺残の1例

徳島大学病院 産婦人科 加地 剛 他

11:10-11:40 一般演題XII：外科疾患II

座長：窪田 昭男（大阪府立母子保健総合医療センター 小児外科）

38. 娩出時に腫瘍内容穿刺・吸引が必要であった仙尾部奇形腫の1例

兵庫県立こども病院 産科 牧志 綾 他

39. 本邦の多施設共同研究における胎児仙尾部奇形腫の周術期合併症および後遺症の検討

九州大学大学院 小児外科学分野 宗崎 良太 他

40. 小児外科疾患に対する治療における胎児診断の役割

東京慈恵会医科大学 小児外科 芦塚 修一 他

11:40-12:20 一般演題XIII：基礎

座長：千葉 敏雄（国立成育医療研究センター 臨床研究センター）

41. 新たな膀胱羊水腔シャントチューブの開発

聖マリアンナ医科大学 小児外科 長江 秀樹 他

42. 胎児脊髄髄膜瘤ラットモデルへのゼラチンスキャフォールドを用いた胎児再生治療

フィラデルフィア小児病院 小児外科胎児外科 渡邊 美穂 他

43. マウスモデルを用いた子宮内幹細胞移植における移植片対宿主病の検討

フィラデルフィア小児病院 小児外科胎児外科 渡邊 美穂 他

44. 超音波照射による胎児遺伝子治療

国立成育医療研究センター 臨床研究センター 柿本 隆志 他

12:30-13:20 ランチョンセミナー

座長：原 寿郎（九州大学大学院医学研究院 成長発達医学分野）

コンピュータ支援外科手術の最前線

九州大学大学院医学研究院 先端医療医学 橋爪 誠

共催 エムシーメディカル株式会社

13:30-13:45 総会

13:45-14:30 Invited Lecture (Keynote Lecture)

Chairperson : Tomoaki Taguchi
(Department of Pediatric Surgery, Kyushu University)

Current Progress and Future Potential of Fetal Intervention
-From Open Fetal Surgery to Stem Cell Therapy

Alan W. Flake
Center for Fetal Diagnosis and Treatment and Center for Fetal Research,
Children's Hospital of Philadelphia

14:30-16:30 International Symposium : Current status and future of fetal treatment in Japan

Chairpersons : Hiroaki Kitagawa (Division of Pediatric Surgery,
St. Marianna University School of Medicine)

Alan W. Flake (Children's Hospital of Philadelphia)

S-1 The current state of fetal therapy in Japan especially laser surgery for TTTS

Haruhiko Sago
Center for Maternal-Fetal and Neonatal Medicine,
National Center for Child Health & Development

S-2 Needs of fetal intervention for congenital heart defect (CHD) in Japan

Motoyoshi Kawataki
Maternal and Perinatal Center, Department of Neonatology,
Kanagawa Childrens Medical Center

Fetal Cardiac Intervention (Special Comment)

Tetsuko Ishii
Department of Pediatric Cardiology,
Tokyo Women's Medical University

S-3 Current Practice of Prenatal Treatment for Cardiac Diseases in Japan

Yasuki Maeno
Maternal and Perinatal Medical Center, Department of Pediatrics and Child Health,
Kurume University School of Medicine

S-4 Indications for fetal intervention in patients with congenital diaphragmatic hernia and
sacroccygeal teratoma in Japan

Noriaki Usui
Department of Pediatric Surgery,
Osaka University Graduate School of Medicine

Total Discussion (35 minutes)

16:30-16:35 閉会の挨拶